

もっとうでかけよう。

もっと笑おう。

妊娠中から使える子育て用品をプレゼント

実は授乳中



母乳育児促進事業を開始

市では、今年4月1日以降に
出産した産婦さんとこれから出
産をむかえる妊婦さんに、肌を
見せずに授乳ができる服と下着
又はマザーズバッグのプレゼン
トを開始しました。

事業の開始にあたって、子育
て用品を提供いただく(有)モー
ハウスの光畑由佳代表と特別に
イラストを描いてくださった、
ビジュアルアーティストのミック
・イタヤさんを招いて、須藤
市長が子育て支援をテーマに対
談を行いました。



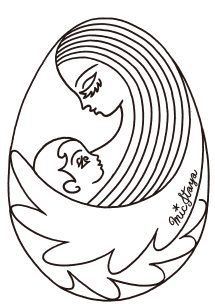
特別対談

筑西市長

(有)モーハウス代表

ビジュアルアーティスト

須藤茂 × 光畑由佳 × ミック・イタヤ



ミック・イタヤさんが、今回の事業をイメージしたイラストを描いてくれました。

光畑さんにお伺いしますが、この授乳服はご自身の経験から作ったものなのでしょうか。
光畑：電車の中で子どもが泣き止まなかったとき、シャツのボタンを外して隠すように授乳をしました、大変恥ずかしい思いをしました。赤ちゃんは、いつ泣く

光畑さんにお伺いしますが、この授乳服はご自身の経験から作ったものなのでしょうか。
光畑：電車の中で子どもが泣き止まなかったとき、シャツのボタンを外して隠すように授乳をしました、大変恥ずかしい思いをしました。赤ちゃんは、いつ泣く



市長：筑西市では人口10万人を維持するためさまざまな施策に取り組んでいます。その中でも重要なのは子育てに関することだと思っています。子どもを産み、安心して育て、そして、働きやすいまちにすることが急務だと考えています。

母親が満たされれば、赤ちゃんも自然に幸せになる（光畑）

かわからないから、外出したくないと考えているお母さんがあまりにも多いということに気が付きました。この状況を変えるために作ったのがこの服です。

市長・光畑さんは女性の新しいライフスタイルも提唱し、会社では子連れ出勤も実践されていますよ。



モーハウスでの子連れ出勤の様子。日本でも先駆けとなる取り組みです。

光畑・子どもを預けて働くのもいいですが、仕事するときも一緒にいるという選択肢があってもいいと思っています。私たちの会社では、みんなが子どもと触れ合いながらいきいきと働いています。

どのようなことをイメージした作品なのでしょう。ミツク・お母さん鳥とひな鳥を卵型に描いたもので、母親が翼で子どもを柔らかく包んで愛おしみ、はぐくんでいく姿をイメージしています。

市長・これを初めて見たときに、今回の取り組みにぴったり合うもので、本当にすばらしいと思います。光畑・私たちは授乳服を作るこ

とで安全な場所を生み出しています。この服を着ることで安心を手に入れることができます。母親が安心して社会に出て行けるように、まち単位で取り組むことができれば、筑西市が安心して子どもを育てられるまちなりのかと思います。ミツクさんのイラストのように、母親と

いました。ミツクさんは近年では伝統工芸に関わる活動もされていますが、今回のように子育てというテーマで作品を描かれたのは初めてでしょうか。ミツク・いえ、僕は普段からそういうことを意識しています。土地に根ざして、自然から生まれてきたのが伝統工芸。子育てを取り巻く環境が豊かでなければ

ば伝統工芸は生まれてこない。子育てと伝統工芸のつながりは、すごく重要だと思います。今回故郷のために絵を描く機会をいただけてうれしいです。光畑・ミツクさんの世界は、子育ての世界とはかけ離れたところにあるものと思っていましたので、活動の多様さに驚きました。

子どもを安心して育てられる環境が世の中を動かす（ミツク）

赤ちゃんが触れ合って信頼をはぐくんでいけるような筑西市になつてくれればと思います。市長・安心して子どもを産み、暮らせる場所を作らなければならぬと考えています。お二人にはよりいっそうの支援をいただき、更に子育てしやすいまちづくりをすすめていきます。本日はありがとうございました。



(有) モーハウス代表

みつはた ゆか
光畑 由佳さん

岡山県倉敷市出身。お茶の水女子大学卒。平成9年にモーハウスを設立。授乳服の製造、販売のみならず、子連れ出勤や子育て支援のイベントを開催し、女性の新しいライフスタイルを提唱。内閣府男女共同参画担当大臣表彰（女性のチャレンジ賞）審査員、茨城大学特命教授などを務める。



ビジュアルアーティスト

ミツク・イタヤさん

水戸市出身。多摩美術大学卒。筑西市を第二の故郷とし、常に最先端の創作活動を続ける。ユニクロ創立時のロゴや、東京スカイツリー「ソラマチ」の壁画装飾などを手がける。先日までもだて美術館で「アートのある暮らし展 ART in LIFE ミツク・イタヤの作品と生き方」を開催。数多くの作品で来場者を魅了。

子育て用品の申請方法

次のものを持参し、本庁2階健康づくり課へ

■ 母子健康手帳

■ 母子健康手帳表紙のコピー

■ 印鑑

健康づくり課 ☎22-0506